

第85回 獣医学セミナー

野兎病菌の進化からみる 病原性獲得機構

清水 隆 先生
(公衆衛生学)

2022年 6月22日(水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101

野兎病菌*F. tularensis*は野兎病を引き起こす病原性細菌で、健康な皮膚からでも感染するなど、その高い感染力と病原性でテロ活動などへの悪用が懸念されています。

*F. tularensis*はBSL3での使用が求められていますが、研究においてはヒトやマウスに対する病原性が低く、BSL2で使用可能な亜種*novicida* (*F. novicida*)が多く用いられます。*F. tularensis*と*F. novicida*は高いゲノムの相同性があるにもかかわらず、病原性に大きな違いがある理由は長年の謎でした。

今回、我々はこの野兎病菌の亜種の進化に着目し、野兎病菌の病原性獲得機構の解明に取り組みましたので、その概要を報告いたします。なお、本研究は研究拠点群形成プロジェクト「感染症創薬研究センター」において、医学部との共同研究で実施したものです。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：三宅 (5913)、伊賀瀬 (5897)

